

< 県南地方振興局長賞 >

国が一つになるために

埴町立埴中学校 3年 星 晴優

僕は税について詳しいことは分からなかった。この作文をきっかけに税について詳しく知ってみようと思い、税のことを調べた。そうすると税金は多くの場所で使われていることを知った。道路や橋の整備、学校、病院など、数えきれない程のところでは活用されている。

僕は税を払うことによってお金の循環が起きて、私たちの生活が成り立っているのだと僕は思う。そこで疑問なのは、なぜこんなにも税のことで悪いことを言う人が多いのかということだった。調べたところだと、買い物はずらくなったり、サービスを受けにくくなり、景気が悪化し続けてしまうことであるらしい。確かに僕たちは安い値段でなるべく質の良い物を買ってお金を使わないようにするが、それに供う税があるために、物を買うことに対して抵抗がでてきてしまうのだろうと考えた。

なら僕たちは税を支払わなくて良いことになるのだろうか。僕はそういうことにはならないと思った。なぜなら税がなくなった時、僕たちの生活はどうなるのか、それを考えた時予想できない程に楽じゃない生活が待っていると思う。

例えば、地震のような大災害が起こった時。東日本大震災や、能登半島地震のような地震が起きた時には、道路が崩れたり陥没したりしてしまったり、工場が壊れたり、水が使えなかったりしてしまうと思う。そのような時、税金があれば、水を配れたり、食べ物を渡せたり、道路を直してボランティアに行きやすくなったりして復興が早くなると思う。

しかし税金がなかったらどうなるのだろうか。税金がある時のような、水の配給や弁当の配給は行うことができず、県や町などに大きな負担がかかってしまい復興が遅れることによって被災した人々は、苦しい生活を長い間強いられて、生きる楽しさが減ってしまう。

最近も地震が多く、南海トラフなども予想されているため、気を抜いてはいられないと思う。自分達でできる対策はしておかないといけないが、準備をしておいても、防ぎきることはできない。

ならば、日頃の買い物や些細なところに税を払っていくことが大事なのだと思う。税金は、見えないところで国民全員を支えて、助けてくれる大切なお金なのだと思う。

僕は税金について、税金の大切さと役割についてよく知れたと思う。国の貯金である税金の大切さを覚えておきながら、困っている人がいたら助けられるような人になっていけたらいいと思う。